

DPFの汚れ・詰まりを解消！
ディーゼル車のエコサービスを実現！

ディーゼル車用DPFクリーナー **KDC-2400**

DPFクリーナー

洗浄・エアブロー・排水処理を解決する、
DPF洗浄システムが誕生！

汚れが循環しない2槽構造

2槽構造で洗浄後の汚れを分離、短時間で効果的に洗浄できます。

圧倒的「水量」と「循環式」でエコ洗浄

約100Lの水で循環洗浄、節水・経済的で
環境負荷を低減します。

2タイプの洗浄ガンを標準装備

「広角タイプ」「直噴タイプ」、2つの洗浄ガンで頑固な汚れも解消。



広角タイプ

直噴タイプ

エアブローガンを標準装備

洗浄後の乾燥もスピーディ、
作業時間を大幅に短縮！



エアブローガン

排水・廃棄処理も簡単

洗浄後の黒煙物質は凝集剤で分離、廃棄物として処理できます。



①凝集剤を投入

②攪拌棒にて攪拌させる

③ドレンより排水します

2400L/h大容量ポンプ で強力に洗浄

圧倒的な「水量」で、エア・
水道水だけでは取れない汚れも
クリーンアップ！

驚異の丸洗い効果！
約10分で洗浄完了！
※汚れの程度により異なります。



VIDEO MOVIE

(4分20秒)

詳しくはQRコードよりアクセスし、
動画をご覧ください。



BANZAI NEWS

2018
Autumn
308

特集

BANZAI NEWS

「この会社で誰でも、いつまでも働ける！」
と思ってもらえる整備・修理工場になろう！（人材の確保）



BANZAI 株式会社 バンザイ

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: eigyo@banzai.co.jp

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171
E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp

営業部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6881

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221
E-mail: sendai_br@banzai.co.jp

海外販売部
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F
TEL 03-3769-6894

関東支店
埼玉県北本市朝日4-553
TEL 048-590-3700
E-mail: kanto_br@banzai.co.jp

東京支店
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F
TEL 03-3769-6840
E-mail: tokyo_br@banzai.co.jp

名古屋支店
名古屋市千種区青柳町6-26
TEL 052-732-2600
E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp

大阪支店
大阪市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041
E-mail: osaka_br@banzai.co.jp

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201
E-mail: hirosima_br@banzai.co.jp

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261
E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡
郡山・山形・新潟・長野
前橋・宇都宮・水戸・埼玉
千葉・横浜・静岡・多摩
北陸・三重・京都・神戸
高松
●出張所 帯広・函館・富山・松山
岡山・山口・山陰・長崎
大分・熊本
●販売会社 バンザイ南九州販売(株)
バンザイ沖縄販売(株)

http://www.banzai.co.jp



ISO9001-ISO14001
自動車整備用部品・検査用機器の設計・開発・販売及びサービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
お客様とのきずなを大切に、
お客様満足度の向上を図っております。



東岳から望む紅葉と日の出——北海道

北海道の短い夏が終わると、やがて山々は赤と黄に色づき始めます。秋の訪れは厳しい寒さの前のひとときの華やぎの季節。北海道、大雪山系東岳の中腹、銀泉台から望む朝焼けの山々と大雪湖の上に広がる雲海。それは間もなくやってくる冬の季節への序章です。

★歳時記

- 10月 8日 体育の日
- 11月 3日 文化の日
- 7日 立冬
- 15日 七五三
- 23日 勤労感謝の日
- 12月 22日 冬至
- 23日 天皇誕生日
- 25日 クリスマス



●目次

- ★特集 人手が足りない、さあどうする？
～いつまでも存続できるサービスショップへ生まれ変わるために～ ①
【第3回】「この会社で誰でも、いつまでも働ける！」
と思ってもらえる整備・修理工場になろう!
- ★モデルショップ訪問【群馬トヨタ自動車株式会社 前橋下小出店】 ⑥
安心・安全なカーライフをサポートする
最新の店舗、快適なサービス環境を実現!
- ★モデルショップ訪問【有限会社 パール自動車】 ⑧
復興から、さらに未来への構想を描く
20年後の将来展望に立った新工場を完成
- ★バンザイフォーラム2018 ⑩
- ★ロータリー ⑯
- ★BANZAIガイド ⑰

特集 BANZAI NEWS

第3回

人手が足りない、さあどうする？
～いつまでも存続できるサービスショップへ生まれ変わるために～

「この会社で誰でも、いつまでも働ける！」
と思ってもらえる整備・修理工場になろう!(人材の確保)



第306号よりスタートした当連載「人手が足りない、さあどうする？ ～いつまでも必要とされるサービスショップへ生まれ変わるために～」では、サービスショップの皆さんが人手不足を解消するための方策を考察しています。第3回の今回は、自社サイトを立ち上げるなどして人

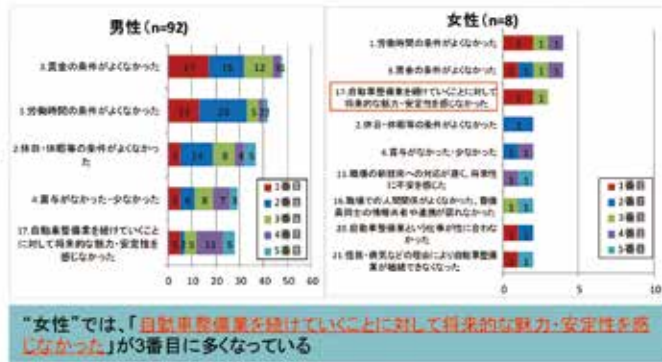
材の獲得に成功し、すでに人手が足りているサービスショップはもちろん、今なお人手不足に苦しんでいるサービスショップも、できるだけ早めに打つべき次の手、「人を減らさない」方法を考えてみたいと思います。

前回ご紹介したような方法で人材を獲得できたとしても、そうした新人が入社間もないうちに辞めてしまつては元も子もありません。それ以上に、長年会社に貢献してきた中堅・ベテランのスタッフが中途退職すれば、新人獲得の効果を打ち消して余りあるどころか、所属部署や担当事業の存続さえ危うくさせるリスクにつながります。

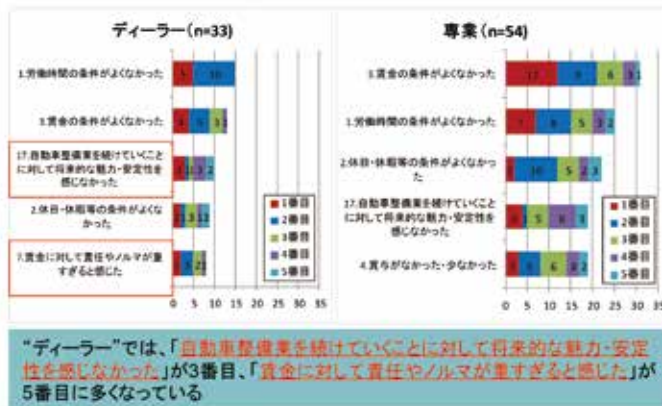
ではまず、「人を減らさない」方法の前に、「人が減る」原因を考えてみましょう。その際、自分がスタッフとして働いている会社を辞めたいと思う時はどんな時かを想像すると、より理解が早く進むはずです。

- と言っても、その答えはそう難しいものではありません。実際には、
- 1.収入が少なく生活が苦しい
 - 2.担当業務や労働環境が肉体的・精神的・立場的に辛い
 - 3.職場での人間関係が上手くいっていない
 - 4.今の会社に居続けることに将来的な希望を見出せない
 - 5.自分のやりたいことが今の会社では実現できそうにない
- のいずれかに該当することが多いと思われます。

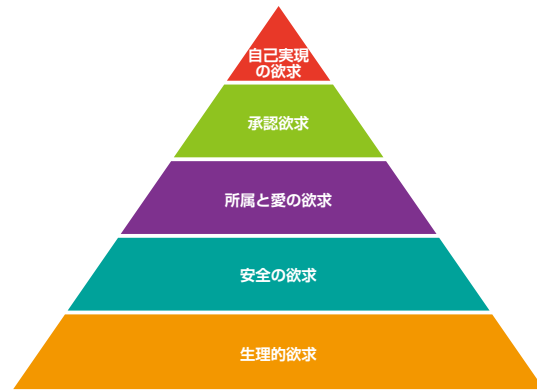
<性別>



<事業形態別>



<性別・事業形態別>元自動車整備士が自動車整備業から転職(離職)を希望した理由 (出典:国土交通省「自動車整備人材の確保・育成に関する検討会」報告書)



アメリカの心理学者、エイブラハム・マズローが提唱した、人間の欲求を5段階の階層で理論化した「欲求階層説」のピラミッド図

有名な「マズローの欲求階層説」に当てはめれば、1.と2.は「生理的欲求」と「安全の欲求」、3.は「所属と愛の欲求」、4.は「承認欲求」、5.は「自己実現の欲求」ということになるでしょう。

なお、国土交通省が有識者や各業界団体の代表をメンバーとして2015~16年に開催した「自動車整備人材の確保・育成に関する検討会」の報告書によれば、離職または他業種に転職した元整備士へその理由を尋ね、男女・業態・年代別に分析した結果、大半の分類で「賃金」と「労働時間」の条件が悪くなったことがトップ2となっています(詳細は別表)。

では、「人を減らさない」ために、これら5つの「人が減る」原因を、どのように解消すれば良いのでしょうか？ 一つずつ考えていきましょう。

売上・利益を圧迫せず 給与水準を上げるには？

1.の「収入が少なく生活が苦しい」は、最も根源的な「生理的欲求」と「安全の欲求」を脅かす問題ですので、検討会によるアンケート結果の通り、退職・転職を考え実行する動機の最上位になりやすく、逆に言えばいち早く解決すべきこととなります。

それを解決するには、真っ先に単純に考えれば給与水準を上げるより他にないのですが、闇雲に上げれば固定費の増

大・利益の圧迫を招くだけで、かえって会社そのものの存続を危うくし、ひいては関係者全員の人生を狂わせかねません。

ですから、給与水準を上げる原資を確実に得るためにも、より多くの利益に貢献しているスタッフに対しより多くの給料を支払う、公平かつ透明性の高い給与制度を構築する必要があります。

まず一つ、特にメカニックの場合は公的・社内的問わず、より上位あるいは多くの資格を持つ人に対しより多くの資格手当を支給する、というのは、資格制度がそもそも有資格者の能力を客観的に証明するためにあることを考えても、極めて公平かつ透明性が高い制度と言えるでしょう。これについては導入済みのサービスショップも多いと推察されますが、もし未導入であれば早めに着手すべきです。

そしてメカニックは、サービス売上・利益を担う直接部門のスタッフですので、その多寡に応じてインセンティブを支払うのは、業務へのモチベーションを維持・向上させるうえでも必要不可欠です。ただしこれが、毎月の給与に対し数千・数万円単位の“お小遣い”程度の金額しか左右しないようでは、ほとんど意味がありません。また、売上だけを評価

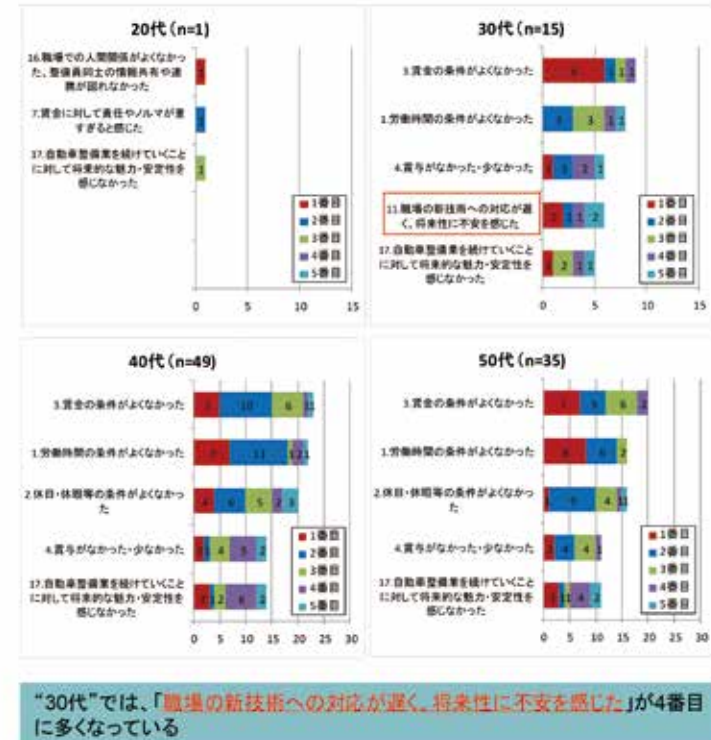
すれば利潤追求・コスト削減がおろそかになり、利益だけを評価すれば薄利多売型の商品・サービスを軽視しがちになりますので、必ずセットで評価する必要があります。

さらに、メカニックだけではなく、直接・間接部門を問わず、業務効率アップ、コスト削減、売上・利益向上につながる「カイゼン」を立案・実行したスタッフに対し、その貢献度に応じて報奨金を与える制度を構築するのがベストです。

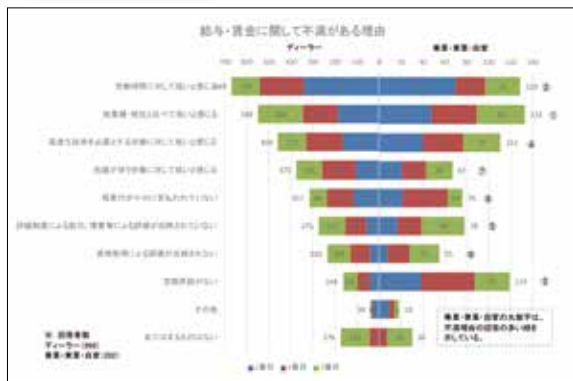
そのうえで、これらの仕組みを人事考課制度や社内表彰制度とセットで、かつ連動するよう構築すれば、売上・利益が向上し、より多くの給与を支払えるようになり、スタッフのモチベーションが高まり、さらに売上・利益が向上する…という正のスパイラルが形成できるようになるでしょう。

ただし、根本的な給与水準が、同業他社はもちろん、他業種でも同等以上の就業難易度や危険度を持つものに対して圧倒的に低ければ、退職・転職のリスクはほとんど減らないと言っても過言ではありません。それでも自社に留まる人材は相応の能力の持ち主であり、ひいては経営者や管理者もその程度の器なのだと思ふべきです。

<年代別>



<年代別>元自動車整備士が自動車整備業から転職(離職)を希望した理由 (出典:国土交通省「自動車整備人材の確保・育成に関する検討会」報告書)



自動車整備士が給与・賞金に関して不満を抱く理由 (出典：国土交通省「自動車整備人材の確保・育成に関する検討会」報告書)

最優先で解決すべきは やはり労働条件の改善

2の「担当業務や労働環境が肉体的・精神的・立体的に辛い」は、1と同じく「生理的欲求」と「安全の欲求」を脅かすため退職・転職を考え実行する動機の最上位になりやすい問題です。いやむしろ、過労や安全上の不備を原因とする重大な事故やうつ病の発症、自殺、急病死にもつながりやすく、金銭的・法的・社会的制裁を受けて倒産へ急転直下する直接の要因になりかねませんので、最優先で解決に取り組むべきと断言できます。

そのうえで、真っ先に注意すべきは「本当の」残業時間と休日・有休取得日数です。タイムカードや日報で勤怠を管理していなければそれは論外ですが、社内外を問わず長時間の残業や連続の休日出勤、さらにはサービス残業や無償の休日就業をスタッフが、経営者や管理者が直接的に強制していようといまいと行っていれば、それは本人の責任ではなく、それを当人に強いる環境に追いやった経営者や管理者の責任になります。

その原因が、達成困難なノルマにあるのならば、すぐにでも下方修正すべきです。あるいは、人手に対し車両の入庫台数や販売台数が多いことによる業務過多であれば、比較的短期間で集めやすいパート・アルバイトを含めて人手を増やすか、それが難しければお客様への納車期間を長めに取り、1日あたりの業務量を減らすより他にないでしょう。短期的には売上・利益を減らすことになるかもしれませんが、そのために大事なスタッフを失い、ますます人手不足と業務過多の悪循環に陥り、あまつさえ労災が発生し会社が倒産の危機に瀕するよりは、遙か



来店型短時間車検の業務フローと各業務のポイント一覧。こうした内容をマニュアル化・標準化することが人材確保にもつながる

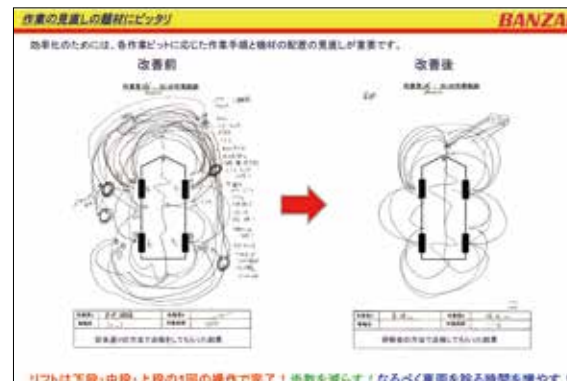
に良い選択なのは間違いありません。

また、同じ人でも、担当業務やポジションが変わったこと、結婚・出産・子育て・進学や両親の介護などの家庭的事情、あるいは本人の健康・体力的問題などで、それまで優秀だった人が従来と同様のパフォーマンスを発揮できなくなり、にも関わらず周囲は従来通りの期待を抱き、外れることで失望し過度のプレッシャーを与えてしまい、本人はそれに押し潰される…ということも、決して珍しくはないのです。

これを防ぐには、経営者や管理者が頻繁にコミュニケーションを取り続け、業務上はもちろんプライベートな悩みも打ち明けられるほどの信頼関係を築くのが「急がば回れ」、時間はかかりますが確実に有効です。「適材適所」の中身は常に変わる。経営者や管理者はそのことを、常に肝に銘じるべきでしょう。

業務フロー見直しと 負担軽減ツール導入で 効率化と事故低減を

こうした人の問題以前に、作業環境そのものが全員、あるいは特定の人にとっては快適かつ安全ではなく、非効率なものになっている可能性にも、経営者や管理者は心を配り目を光らせなければなりません。サービスショップが若手の男性整備士だけで成立していた時代も今は昔。高齢者や女性、外国人も働きやすい作業環境を構築しなければ、人材の確保がますます難しくなっていくのは火を見るより明らかです。



ピットにおける点検作業時の手順と機材配置を可視化した図。改善前は多かった移動距離・回数のムダが、改善後は劇的に減少した

こうした取り組みは昨年「ダイバーシティ（多様性）マネジメント」と表現されていますが、私たちが属する自動車産業の中で耳馴染みのある言葉に置き換えれば「標準化」ということになります。では、サービスショップの中で最も標準化しやすいものとは、一体何でしょうか？ そう、すべきことが法令で決められている、車検や12ヵ月点検などの法定点検です。

車検チェーンなどに加入している指定工場のサービスショップであれば、すでに来店型短時間車検の導入により、車検に関する全工程の標準化を済ませていることと思いますが、そうではない指定工場は全面的に、また認証工場であっても大部分を採り入れれば、より幅広い人材を法定点検の関連業務に配備できるようになるうえ、1台あたりの作業時間を大幅に短縮できるようになります。さらには単価を下げつつ利益を高い水準で確保できるため、お客様もスタッフもサービスショップもwin-win-winになれます。

またこの際、各工具の整理整頓とその配置ルールの明文化、作業時の動線短縮にも取り組むと良いでしょう。そうすることで、工具を外国人も含めた誰もが使えるようになるとともに、作業時の移動距離・時間短縮によって疲労を軽減することができます。

そして、若い男性メカニックにとっては容易なことでも、女性や高齢者のメカニックにとっては負担が大きくリスクの高い作業があることを認識し、それらを見直すことも肝要です。

一例としては、近年急増しているSUVなどに多い大径のタイヤ&ホイール脱着・交換も容易にする「タイヤカート」、エアホースの脱着がない



タイヤ&ホイールの脱着・交換を容易にする「タイヤカート」(左)、エアホースの脱着がなく効率的な「電動インパクト」(右)

分だけ工数が少なく転倒事故のリスクも減らせる「電動インパクトレンチ」、洗車場での転倒事故や足への負担を減らせる「FRPグレーチング」、ピットでの転落・転倒事故や部品・工具の紛失を防げる「床面フラット型リフト」などがあります。

こうしたツール・整備機器の中には、手に届きやすいものから、大がかりな工場リニューアルを必要とするものまで様々ですが、着実に一つずつ導入することで、女性や高齢者のメカニックにもやさしい現場となっていきます。

今回は引き続き「人を減らさない」方法を考えるとともに、「人を育てる」ことの重要性についてもご説明したいと思います。(続く)

安心・安全なカーライフをサポートする 最新の店舗、快適なサービス環境を実現!

群馬県内にトヨタ車の新車販売拠点として22店舗を展開する群馬トヨタ自動車(株)では、このたび従来の前橋荒牧店を移転・新築し、新たに前橋下小出店として、明るくゆったりとしたショールームに、最新の設備環境を整えたサービス工場を併設し、販売・サービスともにフレッシュな装いでオープンしました。



国道に面して広い間口をもつショールーム



視認性、アピールも抜群のファサード



来店表示システムでスムーズな顧客対応を実現



取締役 サービス部担当
工藤 典行 氏



前橋下小出店 店長
須藤 篤 氏

より来店しやすく、お客様に配慮した店舗に

前橋市の中心部から北へ向かう国道17号線に面した新店舗は、約1000坪の敷地に店舗、サービス工場、お客様駐車場をレイアウト。国道に面した広大な間口に、幅広い前面をすべてガラス張りとしたショールーム、十分な広さのお客様駐車場など、立地の良さといま、スマートな外観デザインが目を引いています。「従来の荒牧店に比べて新店舗はアクセスの面でも、よりお客様に来店しやすく、また居心地の良い環境が実現しました」と店長の須藤篤氏。白を基調としたインテリアや、ゆったりとした空間デザイン、さらにお客様にくつろいでいただけるアメニティ設備にまで行き届いた配慮がうかがえます。

小型～大型まで、充実のサービス体制

店舗奥側のサービス工場は洗車場、検査ラインを合わせて8ストール。小型車5ストールにはタンデムリフト4基とワークステージXを1基導入、コンパクトカーからクラウン、センチュリークラスまで幅広いサービスに対応。また従来から「法人顧客でコースター保有のお客様が多いので」(須藤店長)と、マイクロバス、トラックのサービスに大型車ストールを1ストール確保し、キャタピラツインII・ミニを1基設備しています。サービス工場右端の検査ラインにはトリプルテスター、固定式フリーローラーなどのほかネットワークEasyを導入、トヨタの業務システム「ai21(アイ21)」とオンラインして、サービス情報と顧客管理との連携を可能にしています。



リフトは全てフラット仕様、滑りにくい
タイル張りのサービスストール



全てのストールに
ヒーター、クーラーを
完備



3t能力でドライブオン・フリーホイール
に対応、フラットワークステージX



キャタピラツインII・ミニでトラック、
大型マイクロバスにも対応



リール類は下り壁の内側に設置してすっきりとした
イメージに



リール、冷暖房も下り壁の裏に
設置



ショールームスタッフが
お客様に対応



大型までの指定を
持つ検査ライン。
検査業務の効率
化にネットワーク
Easyを導入



サイドテーブルを備えたソファで居心地良く
快適に



ホワイトを基調にしたショールーム、奥に商談ブース



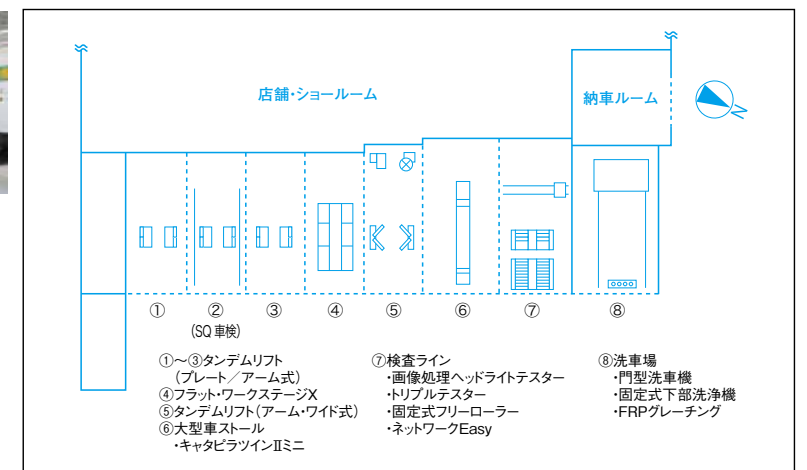
全ての販売車種を
ミニカーで揃えた
ショーケース



タンデムリフト
が効率アップ
に貢献



滑りにくく水はねを防止するFRPグレー
チングを採用。門型洗車機と固定式下部
洗浄機で洗車作業を省力化



復興から、さらに未来への構想を描く 20年後の将来展望に立った新工場を完成

仙台市の（有）パール自動車ではこのたび、震災被災地の復興事業の一環となる区画整理にともなって社屋・工場を移転新築し、板金塗装のほか車検、点検整備、保険販売にも対応する、「20年先を考えた、オールマイティな工場」としてリニューアルオープンしました。



社屋・工場の外観。敷地は1.6m高くかさ上げしている



代表取締役
三浦 雄三氏



ブースダクトと床面吸塵装置のダクトが並ぶ



敷地奥からもアクセス可能。屋上は災害時の避難にも対応

将来を見据えた「想い」が設計の根底に

仙台港に面した宮城野区蒲生地区の一角に完成した新社屋・工場は敷地面積約1000坪、グレーの外壁と入り口に大型キャノピーを備えたスマートな外観です。

「普通の人々が単に外観だけ見れば、大きい工場だな、立派な工場だなと思われるかも知れませんが、基本的な考え方、発想は全く違います」と代表取締役、三浦雄三氏。東日本大震災でまさに九死に一生を得た自らの体験と、業界の将来展望を見据えた「想い」がその根底にあると言われます。

「通常の発想では効率的、働きやすい環境づくりを第一に考えますが、この工場では優先順位が全く違います」と三浦社長。新工場の設計にあたっては、「まず津波、地震、停電への対策、そして従業員、福祉への対応。作業効率や生産性はその後です」と、あらゆる災害を想定し、将来的にも「安心・安全な経営環境を実現するため」のあらゆる構想が盛り込まれています。

「万一」にも対応、ビジネスの変化も視野に

新工場は板金塗装ストール、車検・点検整備ストールに検査ライン、洗車場を併設。基礎はももとの地盤から1.6mかさ上げし、地震や台風、豪雨時に備えるとともに、キュービクル、分電盤などは全て2階へ設置し、停電の際にも7時間は電源を生かせるソーラー発電・蓄電設備、さらに自家発電機も設備。スペアのコンプレッサーも2階に設置するなど、万が一の事態にも対応できる工場になっています。

板金塗装部門では「将来的に大・中ダメージの仕事は減っていく」という見通しに立って、板金ストールは最小限とし、下地・塗装工程にウエイトを置いた設備構成となっています。同様に、今後さらに車検・点検整備も拡大することが出来る「オールマイティな工場」を、4年間にわたる計画を経て実現されています。



点検整備ストール。タンデムリフト2基、ワークステージXリフト1基を導入



リフトをストール前側に設置し、作業空間を広くとっている



検査ライン。トリプルテスター、固定式フリーローラーを設備



大型車サービスストールは工場外側として入庫を容易に



板金ストールにはスーパーフロアシステムが2基



2基の塗装・乾燥ブースであらゆる塗装ニーズに対応



タワー、アタッチメントもすっきりと収納



天吊り式乾燥装置、ブース横面からレールで移動



下地工程には横移動レールと開閉式吸塵ダンパーを設備



入庫時の洗車サービスにも対応できる門型洗車機を導入

お客様と従業員、経営の将来を展望

「これが自分の考えた最低限度の工場。何ひとつ妥協はしていません」と三浦社長。

長期的には板金塗装だけでなく、車検整備、保険販売、さらに福祉車両など、将来ビジョンを考えた新商品にもシフトしていくことが三浦社長の構想です。新工場では各種法対応も踏まえ万全のコンプライアンスを実現。全てにわたって「あと20年はこれでいける、ということを本気で考えた結果です」とのこと。

キャノピーから入り口まで、車いすのお客様も来店しやすいフラットな床面とし、トイレなどアメニティにも配慮されています。また女性スタッフの採用に向けて更衣室などの設備も完備。「安心・安全にお客様に来て頂ける店舗、安心・安全に従業員に働いてもらえる工場、それが将来の安心・安全な経営の実現につながります」と、将来に視野を置いた経営戦略に取り組まれています。



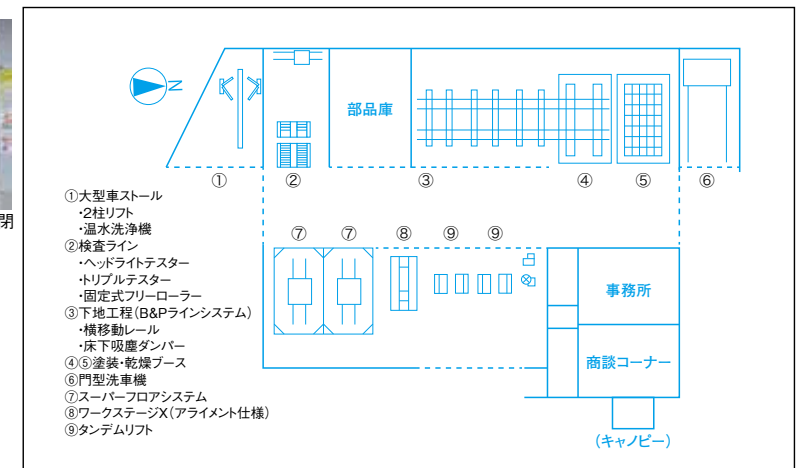
車いすでの来店にも配慮



応接コーナー、多目的トイレも完備



キャノピーの下から入り口まで全てフラットに



ご来場ありがとうございました!

バンザイフォーラム

来て見て聞いて
納得!

2018

「コアビジネスの強化と
これからの展開」
～整備業界における働き方改革について～

隔年開催の全国展示会ツアー「バンザイフォーラム2018」を、7～9月に7つの会場で開催しました。会期中は自然災害が相次ぎ、北海道会場は地震のため初日9月5日のみ開催となり、中国会場は台風の影響を受けて延期となりましたが、多くのお客様にご来場いただき、本当にありがとうございました。被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。ここでは各会場で注目を集めた主要製品とセミナーをご紹介します。

北海道会場



9月5日(水)～6日(木)

東北会場



7月12日(木)～13日(金)

中部会場



7月25日(水)～26日(木)

九州会場



8月23日(木)～24日(金)

関西会場



9月20日(木)～21日(金)

関東会場



8月2日(木)～3日(金)

東京会場



8月7日(火)～8日(水)

車検ビジネス

car inspection

検査業務における各種効率化機器や、コンプライアンス対応をサポートする製品をご紹介します。

インテリジェントリフト



インテリジェントカメラでリフトと車両の位置をモニター表示する「進入補助機能」で、安全かつ効率的なリフト進入・リフトアップをサポートするシステム。稼働状況や定期点検案内、異常発生時の警告を表示する「リフトメンテナンス機能」も備えています。

ヘッドライトテスター HT-538



全自動テスターの最上級機種が一新。C-MOSカメラを採用し、従来型より解像度を約3倍、演算性能を2倍に上げ、さらに車両正対用スコープレスとして、検査時間短縮を可能にしました。

マエストロボックス KLV-27-001



洗浄も可能なパーツ台とタイヤキャッチャー、エアホース5本を備えた高効率車検台車。上部が回転することで動線を減らし、車検点検作業をより効率良く進められます。

クイック受金用LEDミラー UK-2



リフトポイントを探す照明用白色LEDと、3点の光で受金をセッティングするための赤色LED、角度調整式ミラーを一体化。ひざを床に付けず少ない姿勢変化での受金セットを容易にします。

来店表示システム



カメラと赤外線照明を一体化し、設置環境や天候を問わず高いナンバー認識能力を確保。予約表に情報が入力されたお客様がご来店すると、画面表示と音声でお知らせします。

洗車ビジネス

car wash

人手不足対応、収益向上などにつながる洗車・美装関連機器／ツール／ケミカル類をご提案しました。

エミネントレボリューション RO-18R



フロントサイドブラシを前方に備えることで、短縮装置なしでレール長6.7mを実現。オプションの90L水タンク装着時に、設置面積を奥行き8m×幅4mにまで縮小可能としました。

ウォッシュマン BWMシリーズ



手洗い洗車の時間短縮・負担軽減に寄与するツール&ケミカル類。羊毛モップ&グローブ、ハンドワイパー、天然ヤシ油配合カーシャンプー、ウレタン製足場台を設定しました。



大揺動ダブルアクションポリッシャー

オーロラマークが付きにくい一方で振動が大きくブレやすいという欠点を克服したダブルアクションポリッシャーです。オービット径12mm、回転数2500-5500rpm、重量2.2kg。

ヘッドライトクリーナー



一般的にはマスキングおよびポリッシャーなどでの研磨が必要なヘッドライトの黄ばみ取りを、塗布して拭き取るだけで施工可能にしました。マルチハードコートとの併用推奨。

大型車整備・環境効率機器

大型車整備における各種効率化機器のほか、環境配慮商品などの最新機器をご提案しました。



ヨサム・カムアライナー CA2000K-JP

セルフセンタリングゲージを車両の前後に、カメラセンサーを左右輪に取り付ける方式の大型車用ホイールアライメントテスター。小型車だけでなく大型車もきちんと真っ直ぐ走る状態にしておく必要があります。

エアブローや水洗いでは取り切れず、高圧洗浄機では内部を破壊する可能性があるDPFを容易に丸洗い可能としたクリーナー。廃液は凝集剤で固め産業廃棄物として処理します。

ディーゼル車用DPFクリーナー KDC-2400



エイミング関連

aiming

ADAS用センサーのエイミングとそれに伴うアライメント調整、ボディ寸法測定に役立つ機器を展示しました。

センターサポートナビ&位置出しスタンド CSN-3A / CSN-3A-OP-ST



ADAS(先進運転支援システム)搭載車の各種センサーをエイミングする際の車両正対、ターゲット設置を確実かつ容易にし、作業時間の短縮が図れます。

診断機 MST3000&TPM-i-BZ



[MST3000] ソフト/ハード共にメイドインジャパンの高機能診断機。独自機能で故障探求を効率的にサポートします。[TPM-i-BZ] メカニック1人に1台！作業サポートにも対応したコードリーダー。

マイクロラインイーザー3D ML-EASY3D



カメラユニットを省スペースかつ持ち運びも容易な光学式としたホイールアライメントテスター。ターゲットもマグネットクランプでホイールナットに取り付けるため安全で素早い作業が可能です。

コンピューター計測器 タッチ S-90TOUCP120MS

3次元計測システムでアンダーフレームや各種パーツがきちんと取付いているかボディアライメントを確認。ブラインドスポットモニターの取付角度などの計測にも応用可能です。



maintenance

ピット転落防止システム スライディング ピットカバー



点検ピット、フロアリフト使用時のピットへの転落を防止するピットカバーシステム。スイッチ操作で容易に開閉が可能。任意の位置で停止ができるので効率良くカバーすることが可能です。

挟まれ防止機能、スラット収納口に足や工具などが巻き込まれるのを防止する巻き込み防止機能を搭載。既存ピットへの後付も可能。



スプレーガンクリーナーECO SGC-ECO

約50℃に温めた植物性洗浄剤と超音波の力でスプレーガン内部の塗料を落とすクリーナー。水性塗料、溶剤系塗料を問わず、簡単かつ隅々までキレイに丸洗いできます。

「次の一手」を示唆する 中身の濃いセミナー也大盛況!

日刊自動車新聞社 代表取締役社長 高橋賢治 氏 / 事業局局次長 花井真紀子 氏

アフターマーケットの展望

10年後の整備業～自動運転の影響と行政の影響～

少子高齢化による人口減少に加え、CASE(つながるクルマ、自動化、シェア、電動化)技術の普及・進化が急激に発展し、今後ますます進む傾向にあることを示しながら、EVやレベル5自動運転技術が短期間で普及するという一般的な予測には疑問を呈し、少なくとも今後10年間は自動車アフターマーケットが急激に変化・衰退することはないと主張。まずは今ある技術への対応力を磨きながら、顧客獲得に注力すべきと助言していました。



高橋賢治 社長



花井真紀子 事業局局次長

本荘興産 代表取締役社長 平井新一 氏

洗車は、最強の集客商品。

岡山県倉敷市のガソリンスタンドをルーツとし、ボディコーティング剤「ポリマーシーラント」の施工・販売を全国に広め、“究極の手洗い洗車”をビジネスモデル化した同社の現社長・平井新一氏が講演。自動車技術の進化によってロングライフ・ブラックボックス化が進む中で、無料手洗い洗車を入口として顧客の来店習慣化、SNS口コミによる新規客獲得、業務標準化、収益・ES向上に成功した事例を数多くご紹介いただきました。



平井新一 社長



無料手洗い洗車による集客、ボディコーティングの松竹梅展開による収益拡大のイメージ

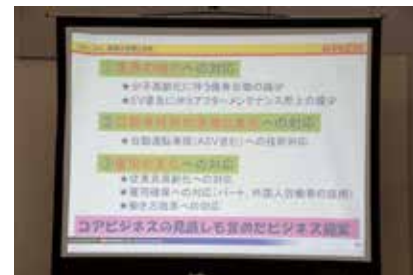
バンザイ 営業情報企画部次長 長谷川忍

整備業界における働き方改革とコアビジネスの強化

業界の縮小、自動車技術の急激な変化、雇用の変化からなる3つの難題をキーワードに、それぞれの動向を詳しく紹介するとともに、車検・洗車・ASV対応の見直しを提案。来店型車検の導入による検査業務効率化・高品質化、人手不足に対応した門型洗車機や手洗い洗車ツールの導入による効率・収益アップ / 環境配慮 / 事故防止、エイミングだけでなくホイールアライメント調整やボディ計測を含めたより確実な整備を提案いたしました。



長谷川忍 営業情報企画部次長



自動車整備業を取り巻く3つの大きな課題

バンザイ 営業情報企画部次長
長谷川忍

車検効率化 セミナー



関東会場では、「整備業界における働き方改革とコアビジネスの強化」で導入をご提案した来店型車検を、会場となった埼玉自動車大学の学生が実演。ムダな動きを減らし、点検見積もりを15分以内、車検の全工程を60分以内で進めるポイントを指南しました。

ネクスト /
ツールプラネット

車体修理における エイミング作業



実車を使用して、ボディの骨格修正からエイミング、納車までの手順をご紹介。車体計測器「Shark3」を用いて車体中心線のズレを確認する際の計測ポイントや、その後に行うエイミングでの注意すべきポイントなどを、分かりやすくご説明いただきました。

バンザイ 執行役員技術部部長
根本茂

リフト安全啓蒙 セミナー



整備機器にまつわる事故で最も多いリフト事故について、取り扱い不良と点検不履行により、車両の損傷はおろかメカニックの重傷・死亡につながったケースもあることを数多くの事例から紹介。作業内容見直しと整備機器点検の重要性を強く訴えました。

アウトメカニカ2018へ研修視察団を派遣



藤盛取締役ほか視察団の一行

世界の先進整備機器の潮流を探る

バンザイでは9月10日から7日間にわたり、ドイツ・フランクフルトで開催された「アウトメカニカ2018」を中心として、世界のアフターサービス機器の動向を探るため視察団を派遣しました。

フランクフルト市の中心部に、大規模かつ広大な展示施設をもつメッセフランクフルトを会場として隔年で開催されるアウトメカニカは、今回で25回を迎え、ヨーロッパを中心に5,000を超える出展社を集めて開催されました。



広大なメッセフランクフルトが会場

今年は営業本部副本部長、藤盛取締役をはじめとして、技術、調達、営業の各部門から参加者を編成し、100年に一度といわれる変革の時代を迎えている自動車の各種整備機器の動向を視察しました。

最新のサービス機器を興味深く見学

ヨーロッパのサービス機器においてもさまざまな変化が見られ、日本の製品にはないアイデアや構造、機能を持ったものも多くみられました。

リフト機器ではシリンダー式で代替え時にピットがそのまま利用できるものや、アームが多関節で車種対応を広げたもの、また5~6トンの高能力のものも多くみられました。

また検査機器では本体を亜鉛メッキとして防錆能力を高めたものが多く、耐久性、経年劣化の防止が図られています。

また足回り機器、とくにタイヤチェンジャーではレパレスタイプのものやユニフォーム測定可能な機種が多く、また非接触式のホイールアライメントテスターやタイヤ溝測定器なども多数出品されており、走行性能や燃費性能向上についてこれまで以上に重要視されていることがうかがえました。



世界の最新機器を一堂に展示



非接触式のアライメントテスターも多数展示

最新情報を生かした開発、ご提案に…

会場にはスナップオン、ヨサム、バイスバースなど、バンザイの取り扱いメーカーも多く出店しており、各社との交流も含め、視察団の一行は興味深く見学日程を終了しました。

バンザイでは今後ともこれら最新の情報を商品開発、販売活動に生かし、さらに皆様へのサービス提案に努めてまいります。



リフト、検査機器にも目新しい工夫が見られる



BANZAI GUIDE

災害時の被災整備機器の使用に関する安全確認について

被災時の事業再開時、整備機器の使用に際しては、十分な安全確保を行い、2次災害の防止に努めるとともに、以下の内容について十分注意し、安全確認のための点検を必ず実施されますようお願い申し上げます。

1 被災後にはじめて機器を使用する場合

- ・電源、エアなどの動力を投入する前に、**機器の外観に異常がないか**、また**ピット内は十分な換気が行われているか**を確認する。
- ・機器のどの位置まで冠水したか確認を行う。天井吊り設備の吊り部材の変形、亀裂がないかを確認する。
- ・本体の破損、変形などの異常がないか点検を行う。
- ・油圧機器の油漏れが発生していないか確認する。

2 電気を使用する機器について

- ・**メインブレーカ(又はコンセント)がOFFになっている事を確認**し、電源ケーブルの破れ、断線等がないことを確認する。
- ・電気装置や部品に冠水がないことを確認する。
- ※万一、冠水があった場合には漏電による感電災害の可能性があるので、**絶対に電源をONしないこと**。

3 エアを使用する機器について

- ・エア配管部の損傷が考えられる場合、エア圧力を下げて供給し、徐々に規定圧力まで上げる。
- ※エアが漏れる音がある、もしくは規定圧力まで上がらないなどの場合は、直ちにエアの供給を停止する。

4 各機器の始業点検の実施

- ・機器の取扱説明書に記載された方法により始業点検を実施し、**異常がないことを確認してから機器を使用する**。

5 リフト機器の安全点検実施について

リフト機器は車両の落下事故などの危険があるため、車両を上げる前に必ず次の安全点検を実施する。

- 1) 床面・ピット底面のアンカーに緩み発生がないか。
- 2) 埋設式リフトは、配管の破損や内部でオイル漏れの発生がないか。
・電源やエア源の異常がないか
- 3) リフトを無負荷で上昇させ、異音や振動がないか、手で揺らしてみてもガタがないか、最上位まで上昇するか、自然下降がないかを確認する。
- 4) その他、リフトの取扱説明書の点検表等を参考に安全点検を実施する。

6 停電・通電再開時への備え

- ・**機器使用后、必ず電源をOFF**にし、ブレーカを遮断、またはコンセントを抜き、停電・通電再開時に機器が勝手に作動しないようにする。

■ 1~6の項目で、異常・不具合が発見された場合は…

- ※そのまま使用すると**機器の破損及び重大な事故に繋がる危険性があります**。
- ※万一、異常が発見された場合は、**機器購入販売店に連絡し、異常箇所の修復が完了するまで、機器の使用は中止する**。

上記についてご確認の上ご使用頂きますようお願いいたします。さらに継続して安心してご使用頂くために、定期点検とは別に機器購入販売店へ機器の総合点検を早いタイミングでご依頼ください。

災害発生時には、緊急の対応窓口を設置し、弊社ホームページにて掲示いたします。
また被災者の皆様の復興ご支援に最大限取り組んで参りたいと考えております。

皆様の安全と被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

編集後記



「バンザイフォーラム2018」開催7会場に説明員として参加させていただきました。
各会場ともにセミナーを中心に賑わいを見せ、整備業界における働き方改革をサポートする様々な商品のご提案ができたと思います。特に、エイミング調整作業前の車の状態

(ボディ・ホイールアライメント、空気圧等)が改めて重要ということを認識しました。
今後もバンザイニュースや各種媒体にて情報発信させていただきますのでよろしくお願い致します。

<河野>